

〈1〉 新たな情勢下で生き残りを模索する ロシア経済

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

教授 服部 倫卓

政治的立場に左右されるロシア経済評価

昨今、ロシア経済の現状をどう評価するかは、論者の政治的立場に左右される度合いが大きいのではないかという気がしている。ロシアのウクライナ侵攻に徹底抗戦を主張する立場の人は、「ロシア経済は崩壊寸前で、だからこそ一気呵成にロシアを追い詰めるべきだ」と主張するパターンがある。

先日も、2月10日付のブルームバーグで、マーク・チャンピオンという論客が、「トランプよ、ここで間を置くな。ロシア経済は綻びつつある」と題し、制裁継続・強化を熱弁していた。まるで、メダル落としゲームで、あと1枚投入すればすべてが崩れそうなのに、ここで止めてしまうのか、というニュアンスの論じ方だった。

そうした議論の変形として、ウクライナのレジリエンスを賞賛するというパターンもある。英エコノミスト誌は昨年12月18日、「ウクライナは経済の戦争でロシアに勝利しつつある」と題する論考を掲載した。同記事によると、ウクライナ経済は、戦時下の現実を乗り切るために自己改革を行った。その結果、経済成長、為替、金利など、いくつかの重要な点において、現時点でウクライナ経済は敵国ロシアのそれよりも健全であるというのが、エコノミストの主張であった。もっとも、同記事を良く読んでみると、ウクライナ経済に関し手放しで楽観論を述べているわけではなく、待ち受ける困難や障害につい

て論じた箇所の方が実は長い。あくまでも、ウクライナは国際社会の支援でどうにか経済を維持しており、八方塞がりのロシアよりはマシという議論なのであった。

逆に、早期和平論を唱える論者は、「いやいや、ロシア経済は揺らいでいない。効きもしない無駄な制裁など止め、このあたりで手打ちにすべきだ」と主張するのが常である。

こうした中で、筆者自身は、長年にわたりロシア経済を見つめてきた者として、政治的ニーズに応じてロシア経済を評価するのではなく、なるべく予断を排して、それ自体を客観的に分析したいと考えている。本稿もそうした試みの一環である。個人的に、ロシアの侵略に歯止めをかけなければならないという危機感では人後に落ちないつもりではあるが、その目的のためにロシア経済の分析に手心を加えたりするのは本意でない。

残念ながら、そうした想いに反し、ロシア経済を客観的に分析する作業の難易度は、高まっている。ロシア当局による経済統計開示が後退しているからである。代表的なのは貿易統計で、ロシア税関は一般向けには輸出・輸入総額、ごく大掴みな商品分類、大陸別の輸出・輸入高しか発表していない（より詳しい通関統計集も、紙の冊子としては、かなり遅れて、ごく少数数刊行されるが）。連邦財政に関しても、財務省による情報開示は乏しくなっており、予算の時点では歳出の大まかな内訳が示されるが、歳

出決算が発表されるのは総額のみとなっている。したがって、たとえば 2024 年にロシアが実際に国防費をどれだけ使ったのかも、財務省は発表していない（本稿では国防省資料からそれを補っている）。鉱工業生産統計でも、軍需関連部門はもちろん、石油・

ガスの生産動向も国家機密になってしまった。そうした中で、断片的・間接的な情報を突き合わせて、全体像を推測するような作業が、昨今では我々ロシア経済専門家の仕事となっている。

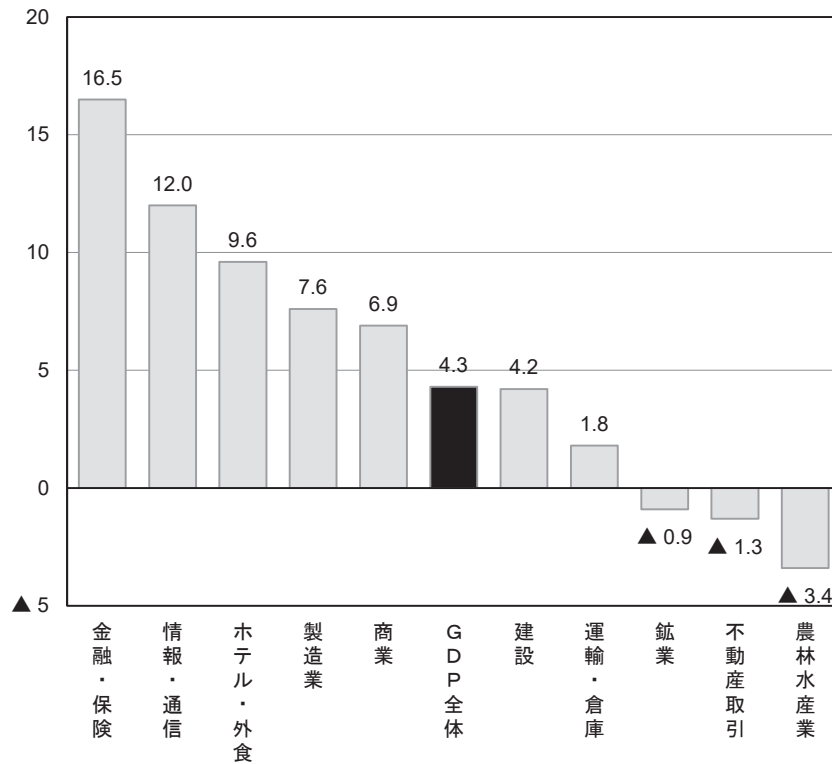
図表 1 ロシアの主要経済指標

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
					予測（基礎シナリオ）		
国内総生産（名目、10 億ルーブル）＊	134,727	156,941	176,414	201,152	214,575	230,568	248,313
GDP 実質成長率（％）	5.9	▲ 1.4	4.1	4.3	2.5	2.6	2.8
年平均為替レート（1 米ドル当たりルーブル）	73.6	67.5	84.7	92.4	96.5	100.0	103.2
消費者物価上昇率（年末ベース、％）	8.4	11.9	7.4	9.5	4.5	4.0	4.0
鉱工業生産伸び率（％）	6.3	0.7	4.3	4.6	2.0	2.4	2.6
固定資本投資伸び率（％）	8.6	6.7	9.8	7.4	2.1	3.0	3.3
国民の実質可処分所得伸び率（％）	3.3	4.5	6.1	7.3	6.1	4.6	3.4
商品輸出額（国際収支ベース、10 億ドル）	494.2	592.1	424.7	433.1	445.0	455.2	476.2
商品輸入額（国際収支ベース、10 億ドル）	301.0	276.5	303.1	300.1	321.9	342.6	357.4
失業率（年平均、％）	4.8	4.0	3.2	2.5	2.6	2.6	2.6
原油生産量（100 万 t）	523.0	534.0	529.6	516.0	518.6	525.2	532.6
原油輸出量（100 万 t）	231.6	249.9	238.3	239.9	233.5	238.0	242.4
連邦歳入総額（10 億ルーブル）	25,286	27,824	29,124	36,709	40,296	41,841	43,154
連邦歳出総額（10 億ルーブル）	24,762	31,119	32,354	40,181	41,470	44,022	45,916
国防支出（10 億ルーブル）**	3,574	4,668	6,406	10,969	13,491	12,798	13,068

（注）＊ 2025～2027 年の国内総生産予測値は、ロシアが併合を主張しているウクライナ東部・南部 4 地域についての推計値を含んでいる。＊ ＊財務省は 2022～2024 年の国防支出実績を発表していないので、その 3 年間については国防省資料から試算した。

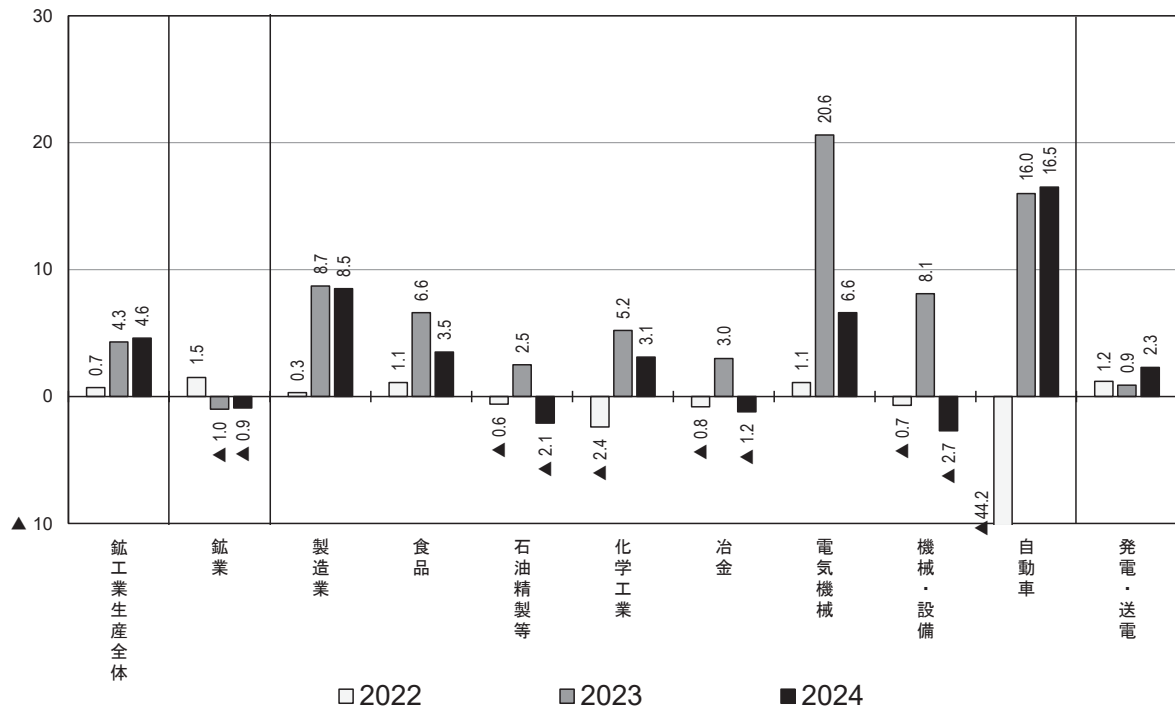
（出所）ロシア統計局、経済発展省、財務省発表データに基づき筆者作成。

図表2 2024年のロシアGDPの生産部門別増加率(%)



(出所) ロシア統計局発表データに基づき筆者作成。

図表3 ロシアの鉱工業生産伸び率：主要部門(前年比伸び率、%)



(出所) ロシア統計局発表データに基づき筆者作成。